



（灘の酒を熱情込めて語る嘉納氏）

神戸つ子放談

世界に誇る酒

嘉納正治

遠く六甲の連峰が黒く翼を拡げたように見える。御影の海岸線に灘の名醸というより、日本の銘酒と謳われている「白鶴」がある。

その白鶴は灘五郷の醸造元のなかで一番近代的な設備をもっているといわれている。

社内は綺麗にはき清められ、塵一つない清潔さが印象的だ。

「その近代的な設備といわれるのは、照れくさくて、こそばいようだな」と遠慮はされるが、酒の話となると話に熱が入って、嘉納正治氏はてきばきと話される。嘉

納正治氏は灘酒造界はもちろん広範囲な事業をとおして神戸の近代企業家のフロンティアらしい、明るさと洗練された雰囲気をもった紳士で表情豊かに、まず酒から語られる――

近代醸造に進む酒

「醸造というものが、もうこのあたりで脱皮しなければならぬ時期だと思ったので、新しい手法に踏切ったんだよ、だが醸造は到底現代産業と比較にならない、第一まだ、季節産業なんだからね。季節的な制約を受けるようでは駄目だものね、近代産業の仲間入りをしようと思えばどうしても、通年産業への切換えが必要になって来ますね。なに分、伝統産業と呼ばれるものだけに、製法の歴史も古く、在来手段にたよってきているため研究はなかなか簡単にはいきませんよ。」

いまのところ、オートメイションも万能と迄いきませんね、酒はご存知のように微生物の自然変化によって、生まれるものなんだから人工調整より自然変化の方がよいのにきまつてるものね。

現在のところ、新しい設備を持つごとに、実験を重ねて改良し、通年産業の実現を目指して、立体的なプランは樹てているんですよ。

現在のところ改革が成功したといえれば貯蔵タンクでしょうね。かつて、最高30石までしか貯蔵できなかったものが、グラス・ライミングを利用して55石以上のタンクが出来るようになりました。

それに「白鶴」では重力を利用して縦の醸造形態で輸送の手間をはぶいています、ビルの最上段(6階)に原料を貯え階下になる程、製品化されるという方法で、1・2階が貯蔵タンクになるようにしているんですよ、この他に研究中のものといえは、洗米から浸漬そして蒸餾までをオートメ化することとか、圧搾機の改良などでしょう。

結局、建築面積を少なくして貯蔵量をふやし、輸送を簡略化してパイプを活用しているということなんです。

ちょうど20年程前1937年頃渡欧したとき、ボルドーの葡萄酒工場を見て吃驚したんだが、全部で10万坪という大きなもので、流石はもてるくにとあきれたものなんですよ、

ところが一昨年も渡欧したときも、のぞいたんですが、全然変化してないのですね、醸造界の、のんびりしてるのは世界的風潮なんだと、妙なところで安心したりしてね。

とにかく日本の米はおいしいよ、世界中の主食のなかでこれ程素晴らしい味はないですね。一度内地の水稲の味を覚えると、ほかの主食に馴染めないのは当然ですね。また酒の話になりますが、これ程美味しい内地の水稲で造られる酒なんですから、いつまで経っても日本人と酒の縁は切れませんよ。

我々も学生の頃から、三ッ輪、菊水といったところですき焼とともに酒を享受し、人生を語る伴侶として親しんできたんですからね、どなたもそんな経験はおありだと思っていますね。今後とも酒を楽しみ味わっていただきたいものですよ」

神戸を理想的な観光地に

「神戸のみなさまに親しまれている、白鶴美術館は財団法人になっていますが、先代の嘉納治兵衛(正久)のコレクションによるものなんです、中国の殷・周・漢朝などの美術品がおさめられています、やはり文化は護らなければなりませんね。」

神戸はあくまでも、エキゾチックな街であってほしいと思いますね、なんといっても、国際港都なんですから港を中心とした道路の整備を急いでやってもらいたいものです。明神高速道路が西宮で切れているんですが、もっての外だと思いますよ、阪神間と西播まで結んで発展して行くように考えなければいけませんよ。そしてね、六甲山・瀬戸内海などの自然美をまもって、この世界的な景勝地をまもって、理想的な観光地にしてもらいたいと思っています。」――白鶴酒造社長――(文責・小泉康夫)

王様の宝石

鴨居羊子



ティファニーのような大きな立派な宝石店ではなく、
て街角のほんの小さいアクセサリー屋さんだったけれど
その店の小さな指輪の前で、私は甘いとろけるような夢
を描いていた。あらゆる色の宝石のついた冠とネックレ
スと指輪をはめて笛をもったトルコの王様が、にんまり
笑っている――のが私の姿である。

王様のような思いに浸らせてくれるのはたった金七百
円也のチェコ石の指輪である。太目の金のリングに小粒
のいろんな色の石が山形に盛られてあるのは、ほんとに
王サマの冠のようだ。宝石の指輪というのを生まれてこ
のかた私ははめたことがない。あれは白魚のような指の
人だけがはめるものと決めこんでいたのに、私のきこち

ない指にはめただけでさえ、私が王サマになる――とは
フシギだ。小っぴけな石が体じゅうをとりこにして急に
身動きできぬようにしぼりつける。はめている指だけが
ケガでもした指のように樺みたいで動かせない。指輪を
すると肩がこるだろな。

地中海の底のような深い青の石もある。神秘的グリー
ンの瞳をもった女のような石もある。私はほしいと思う
かたわらから次々に隣りの石の光りに魅惑されて、どれ
がほしいのか判らなくなった。みんなほしい。一つ買う
と他の石がたまらなくいとおしい気がする。

あー私が目をつぶってる間に恋人のだけれが、このうち
の一つをえらんでそっと私の指にはめてくれたら、まぶ

たを開けると同時に私の心は決まるだろう。いままで彼氏はクリスマスに一体何をプレゼントしてくれたんだらう。グリコ。花をつけた豚まん。悪魔の人形——なんていうへんなものばかりもらったぞ。誰もこのロマンチックな石をくれたものがない。

小さいいくつもの指輪がきらめく輪になって私の頭を混乱させる。私はどの石もえらばないで店を出た。一日経ったら私はすっかりあの指輪たちの執着から解放されていた。でも美しい豊かなきらめきで私の胸は充たされていた。指輪たちは私をとりまく多くの恋人のように思える。私はその輝きだけで十分幸せだ。そのうちの一つだけえらんで一本の指にはめるというちぎりはもういない。指輪はもう私のものじゃない。店頭の冷たい石にもどった。私は人間に対しても石のように冷たく美しく、すべての執着から放たれて孤立して輝やいていたい。ある日、オモチャ問屋から一箱二百円の指輪を、こんどは気前よく買いこんだ。一箱に五十箇ぐらいのささやかな指輪がキラキラキラとあどけないガラスの光りを放っている。王様の指輪のようなスゴミの光りではないけれど、赤、みどり、黄と原色の素朴なガラス玉のくすんだ輝きや、それなりに、たまらなく新鮮である。子供の歯のようだ。五本の指に全部はめこみ、手をふりながら、歩いてみる。キャラキャラキャラと音がしそうだ。大の男たちまで寄って来て小指にはめたり、背広の胸にさしこんだりしてはしゃいでいる。

私は気前よく、みんなの望む色の指輪をばらまいた。一箇二円だったら気前のいいのは当り前だけれど、けっこ

う私は宝石を惜し気もなく与えている女王気取りになってしまった。光るものというのは、そんな錯覚を与えるらしい。私にとっては、グリコのおまけのこの指輪と、王サマの指輪との区別が判らんのであろうか。同じように錯覚してゐるのではあるまいか。私は十分にこのガラス玉たちの輝きで喜び、そしてガラスの指輪たちもたちまち姿を消してしまった。

最後に残った私の五本の指のガラス玉。

ある夕方、その指輪をはめたまま、一人の青年の前に私は立っていた。その青年は、もうすっかり私の心から立ち去ってゆこうとしていた。そこに立っている美しい青年の体も眉も唇も、それは魂のない虚像であった。さわってみるときつと宝石のように冷たいにちがいない。きつとその沈んだ瞳には私の姿など映っていないのかもしれない。私は足先の先から手の先までふるえてくるのが判った。指のガラス玉がガタガタとさわぐ。

涙とわめき声がとび出すかわりに、私は無意識に四つの指輪をぬきとって、手の平でもみくちやにしてたと思つたら、フト青年の胸のポケットにほりこんでしまった。

青年はしずかに四つのガラス玉をとり出し、そして眺める。右のズボンのポケットから車のキイをとり出すとそつとキイの輪の中にガラス玉の輪を通した。キイの音と四つの色が青年のズボンにおさまった。

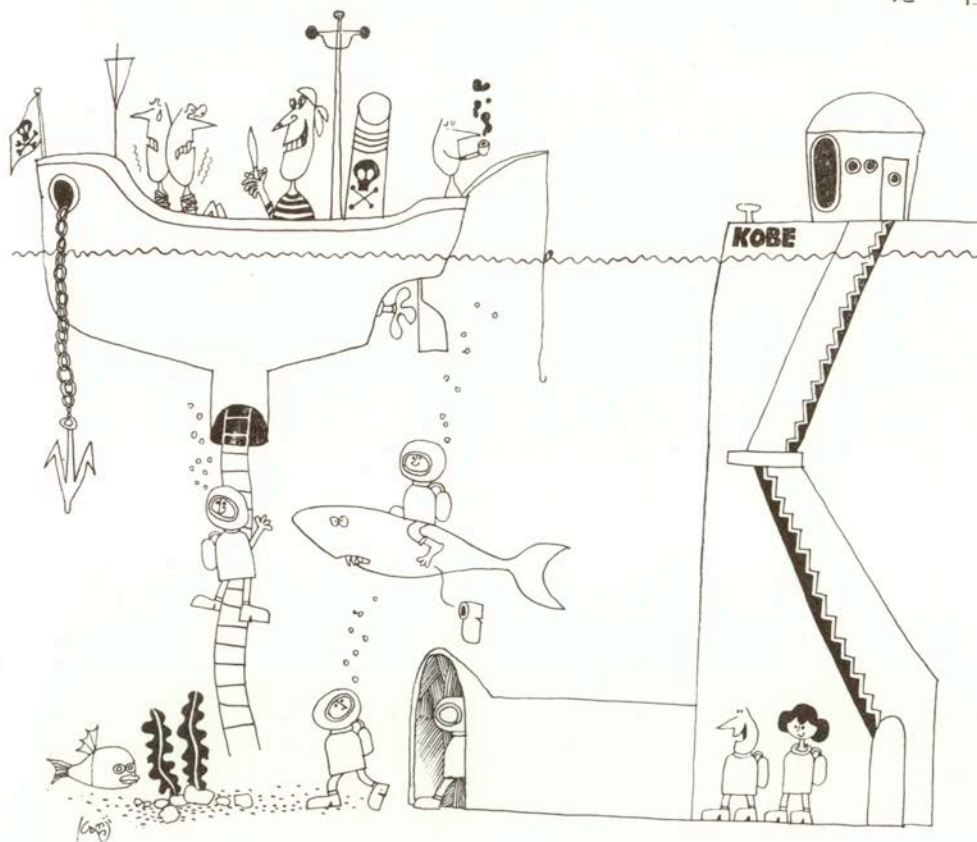
私の心から宝石は消えた。ザ・エンドである。

(下着デザイナー)



神戸だからえがく夢 No.2

藤 本 義 一
え・佐々木侃司



海洋博物館に海賊現る？

A 新聞 今日、海洋博物館で催している海賊週間の船に本モノの海賊が現れ、市民からサイフをまきあげた。市民 博物館で賊をやとってるといいう話やで……道理で入場料が安いわけや

海洋博物館ができる！

東京の友人から電話がかかってきた。仕事でそちらへ行くから、宿をとっておいてほしいという。

1人や2人ならわが家を提供してもいいのだが、連れが3人もいると聞いてはそれもかなわないので旅館調べをはじめた。交通公社の時刻表をくって公社推薦旅館を探してみたら、暮合、生田両区内で15軒。ちょうど三宮へ出かけたので、駅の案内所で国鉄推薦旅館を当たってみたら、これがさきのとダブって約20軒。旅行者が安心して泊まれるホテルや旅館が案外少ないのに驚いた。有馬にはあんない温泉があるのだから、みんなそちらへ行ってもらおうといってしまうそれまでだが、修学旅行の団体などはそうもいかない県や市はユースホステルや山の家に力を入れているようだが、もつと眼を向けてほしいところがある。それは海——六甲、摩耶にはずいぶん力を入れている当局が海はまったくほったらかしなのである。

「みなと祭」をやるだけが国際港都じゃない。観光船で「海の女王V」が花束を贈り、音楽隊が歓迎

演奏をするばかりがミナト神戸じゃない。もっと国内の人たちに、神戸の港とその歴史を知ってもらおう。

その一つ、日本郵船の水川丸が横浜で「海に浮かんだホテルV」になった。船内には海と船についての参考品や展示がギッシリ飾られていて、海洋博物館といったところ。しかも夜は修学旅行生などのホテルになっている。これひとつがでただけで、横浜の人たちはもとより、東京、そして山国の子供たちがどんなに胸をふくらませていることか。

横浜に船会社が本社をおいているなんてのはない。神戸にはほとんどの船会社が、本社または支社をおいているのに、なんと情けないことか。

大阪には科学博物館があり、自然科学博物館があり、交通博物館があり、大きな美術館があり、大阪城天守閣にもそれに類した古い大阪を教える陳列場がある。また民間企業がつくったナショナル電化センターも、地方からの団体客でにぎわっている。ミナト神戸のどこに、市民の誰でもが見られる

1隻の船の模型、1枚の兵庫開港の写真があるのか。

いま下関には、かつて関釜連絡船としてサッソウと釜山海峽を渡っていた大型客船がどうにもならず、つながれている。巨体を持てあましている厄介物だ。これをなんとか手に入れて、神戸の海岸のどこかへ繋留できないものか。船内には、たとえば明海ビル3階の船舶クラブにある船の精巧な模型を飾る。ついこの間、神戸商船大学へ正確な千石船を寄贈したかつての船大工さんに、もう1隻つくってもらえないか、みんな頼む、など。そのほか参考資料の借用や寄贈を依頼する先きも、神戸ならいっぱいあるはずである。神戸につくらず、日本のどこに海洋博物館をつくれる街があるか。そう考えるとまったく腹がたつてくる。

相楽園のなかへ異人館が移築されるそうだが、船をもってくるのがダメならここをそれに当てもらいたい。はっきり決まっても、市では予算がたりないというのなら私はまず第一に貧者の一灯をともそう。ことし生まれた私の子供が大きくなったら、眼を輝かして神戸の港の歴史を語ってくれるだろう。市民は海を忘れていた。もつと海を見よう。そして子供たちが神戸の街の歴史をもっと身近かに知ることができるよう、願いをたてるのだ。ミナト神戸の明日のために。

(詩人)

父の勤めの関係で、私が生まれたのは、台湾だから、正確には「神戸っ子」といえないかも知れない。だけど台湾での生活は小学校五年の九月まで、その後、父方の実家、福岡（黒田藩士で、先祖代々三百年続いた旧家と書く）に移つり、やがて神戸は風光明媚な須磨に、そしていまの住居、石屋川に落ちつく間、途中六年間の東京音楽学校（いまの上野の芸術大）時代をのぞけば、ずーと神戸に住んでいる。それだけに神戸への愛情は大へんなものです。

月並みな讃辞を並べれば「山あり、海あり」とまことに恵まれた街ですが何にもまして神戸の空気のきれいなこと。大阪などへ出た帰えり、石屋川の駅に降りたつと、いつも「スーッ」としたさわやかな気持になるから不思議です。

また、どの旅行者も、口をそろえておっしゃるように神戸は「食べもの」のおいしいことでも最高でしょう。神戸肉はもとより、お魚の新鮮なこと、マツタケタケノコ、イチゴ：などと季節の野菜や果物にもこと欠かないというしあわせーこのしあわせ感は、そのシーンにたまたま演奏旅行などで神戸を離れていればいっそう強く、帰心矢のごとです。演奏旅行で九州、四国東北、山陰、中国とほとんど全国各地を訪ねているけれど、神戸ほど住みよい土地はないでしょう。もちろん、それぞれの土地にも、それはそれなりにまた捨てがたい「味」を持っています。

随 想

神戸に住むしあわせ

市来崎 のり子

私が始めて神戸に住んだ「須磨近辺」は、海へ行けば昔と少しも変わっていないように思えるけれど、鉄道を越えて山へ向うと、戦前と戦後ではずい分とその面影は変わり果てている。驚ろくと同時にとても淋しい。

よく弟や妹たちをつれて遊びにいった須磨寺の池は、さがそうにも見あたらない。昔、あの辺りはシーンとしばらくかえり、花見時やモミジ時にいきな三味線の音が聞かれる程度だったことを覚えています。たしか小動物園？とても呼べるような場所もあり、アヒルやおサルにエサをやりに行ったものですが、その小さいころのなにかしい思い出の跡は、時の流れとともに消えてしまっている。

私が神戸を愛し、離れがたい気持のもう一つに、女学校時代のクラスメイトや同窓生たちのあたたかい友情がある。

いまは兵庫県庁舎となっていていますが、生田区下山手四丁目にあったあの学び舎で過した県一高女時代の生活は忘れられない。「佳き時代の思い出」といえます。その県一も、戦後の六三三制という新教育制度で神戸一中と合併、新らしく神戸高校と名を変えてしまいました。が県一のOBたちで作っている「欽松クラブ」の活躍は大へんなものです。そしてこのメンバーのあたたかい友情はいつも、やさしく、やわらかく私の心を慰め、励ましてくれたのです。私はこれからもこの友情につつまれながら歌いつづけることでしよう。

メリー・クリスマス
 イブのプレゼントに
 真心のリボンをかける
 田崎の真珠を…
 ステレオが当るクリスマスセール12月25日まで

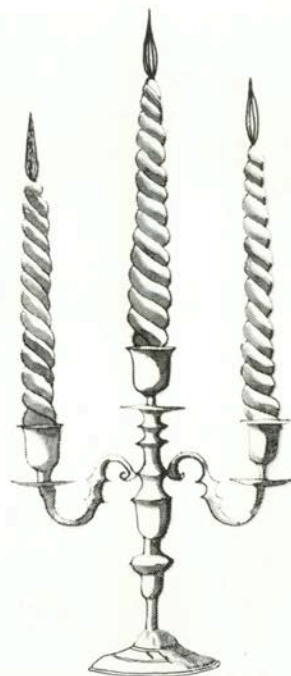


神戸・三宮駅前 新聞会館内

田崎真珠店

TEL (22) 5646

Merry Xmas

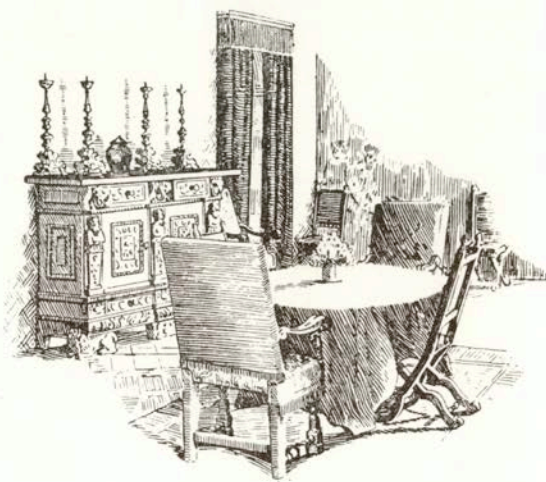


紳士服飾・婦人服飾

セリザワ

神戸大丸前・三宮センター街

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 TEL { ③ 5 5 2 0
③ 1 2 9 0

呉井陳藏
みよーや

神戸 大丸前
電話 神戸(3)三八八九番
大阪 阪神百貨店三階
電話 大阪(36)五五四八番
姫路 店 やまやき百貨店
電話 姫路 四〇〇〇番



映画戯評

「ティファニーで朝食を」 名村喜久江



(写真はオードリー・ヘップバーンとジョージ・ペパード)

冷蔵庫をあけたらミルクと部屋
ばきのクツが同居してるし、皮グ
ツの片っ方は果物カゴに御鎮座ま
しますという天衣無縫さ。パリ・
モードで、シン・シン監獄にギャ
ングの親玉を訪ねるかと思えば、
洗髪をキョッとくくり、水色の
セーターに細いブルージン姿でギ
ターをつまびくという支離滅裂型
フーテン娘の行状記です。

14歳のときダラスの田舎獣医と
結婚した彼女、半ダースもいる義
子たちにオソレをなして家出、や
がてニューヨークへ舞い込みます
金持ちで鼻下長の紳士たちをコロ
リとだまし、生活費をしほりあげ
るのを副業に、週一回、面会に通
う監獄から天気予報(その実、麻
薬の情報)を受取っては運び賃の

ナニガシかをもらうのが主な収入
源。ピービーのくせに友人を集め
てアパートでドンチャン騒ぎをし
てみたり、財産家のリストを暗記
しては彼らに近づき、タマのコシ
をねらうという特異児童タイプの
女の子です。

こう紹介してくると「あらステ
キ。さっそく国際試合がしてみた
い」などとオリンピック精神をチ
ラつかせる日本製チャンネエ族も
いらっしやるでしょうが、しばし
お待ちください。名のある服飾
作家ジャンシエのデザインした豪
華なドレスの数々が、ビタリと似
合うオールドリー・ヘップバーンが
相手では、判定負けはおろか、放
棄試合の方が無傷・徳用と申せま
しょう。むしろアカラサマな敵対

心はすっぱり捨てて、妖精からス
キャンピンまで、千変万化するヘッ
プバーンの魅力と包装の美しさを
堪能なさる方が無難ではございま
すまいか。ついでにティファニー
宝石店のショーウィンドに行き、
ロールパンと紙コップ入りコーヒ
ーで朝食をすます彼女の、いじら
しくも執念にみちた姿に、あなた
の欲求不満を次手にぶちまけてみ
るのも頭の体操に効果的です。

結局はこの変わり種も、麻薬事
件がバレて麻薬ボスには裏切られ
ブラジルの大立物にも婚姻予約不
履行をくってガックリ。さいごに
は終始ハートの温かさをPRしつ
づけた青年(年上の室内装飾家オ
バさまをボーイと捨てた作家の卵
君)と結ばれてメダシメダシ
という都会喜劇です。

むしろが楽天的すぎるのがちい
つとばかし気に入らねえと深刻
好みの評論家センチたちはおっし
やるかもしれないが、ヘップ
バーンの変わり身の面白さをアテ
こんで作った大人のオトギ話です
もの、何ら教訓的な収穫はほしが
らず、気楽にニンマリなさるのが
お買い物のコツと申せます。常識
でコチコチになった石頭とか、モ
ラルにしばられて身動きできなく
なったハートを放りこみ、この童
話的ミキサーで攪拌すれば、こわ
ばった顔面筋肉、すじばった足腰
たまり切ったストレスのすべてが
快く消滅すること疑いなしです。
ワキ役陣でぐっときたのは、名な
しの権兵衛のおネコちゃんです。
アカデミー受賞候補の最右翼動物
として、遙かに声援をおくりまし
ょう。

(大阪読売新聞記者)



ネクタイの
元町バザー

元町1丁目 3—1401

⑤ 柴田音吉洋服店

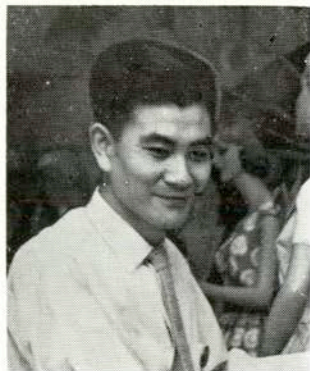
神戸・元町通四丁目 ④ 0693

大阪・高麗橋二丁目 ② 2106

レリーフ

特異版画を作っている

市原 宏郎君



神戸市内には「神戸百景」で知られた川西英氏をはじめ何人かの版画家がおられる。そんな中で、若手でもあり、一風変わった作品を発表しているのが市原宏郎君である。その作品が一風変わったというのとは、描く題材がまるで童話のように楽しく幻想に富んだ世界であることと、版画といっても油彩仕上げて、一つの版から一点しか作らないという制作方法にある。だいたい版画といえは木版でもエッチングでも一枚きりの仕上げというとはなく、五十枚内外の量産をするのがふつうだ。市原君はそれをやらない、というよりも仕上げるのつこう上それができないのだ。最近、絵画の世界ではいんなら新しい作画法が実験されているから、そういう意味では市原君の作品を「版画」というワクに閉じこもった見方をする必要は全くないともいえる。本職は百貨

店の宣伝マンである。といっても取り組んでいる仕事は店内装飾や催し物の企画、実施など。工芸高校彫刻科の出身で、装飾に興味を持ったのがきっかけで三越の宣伝部へはいり、高松を振り出しに現在は神戸店勤務。はじめ絵描きになどなろうと思っていたいなかったのが、同窓の先輩に画家が多いところからすすめられるままに版画を作り、それを出品したら連続入選したというわけである。現在は春陽会版画部の準会員。油絵でなく版画を選んだのは、彫刻科の出だけに木を彫むことになれていたからだそう。勤め—それもかなり激務と聞か—と併行しながらの制作だけに、でき上がる作品の数は多くない。それだけにまた「珠玉の」作品が世に出るともいえるわけだが。がんばってほしいものである。二十八歳。(伊藤藤次)

花時計

コウベの空

松井 高男



紀州、淡路をふくめて、大阪から須磨まで、六甲台からながめるこのシネスコ的風景のすばらしさは、四季を通じてつねづね神戸ならではのものと思っている。たとえ工場の煙りにさえぎられて、みををひきながら神戸港に出入りする船の姿が隠れがちであろうと、疲れた頭をやすめるには申し分のないながめである。そして、大阪にくらべて神戸の空はまだきれいだ、しみじみ思う。

現在、東京都にふりそそぐ煤塵の量は、毎月平均一万二千トンだという。大型トラック五、六十台分の煤塵が、毎日都民の頭上に落下しているといえはウソのようだが、真実の話である。一平方キロあたり東京の場合が二・二トン、大阪が二・三・二トン、神戸が一・〇

トン。大阪にくらべれば半分以下だとはいえ、きれいに思える神戸でさえこれだけの煤塵が浮遊しているわけだ。放射性降下物の問題はいうまでもないことながら、最近の都市の大気汚染もまた重大な事柄である。自動車の排気ガスもやましくいわれ出したが、これなども対策がないと捨ててはおけない。アルデヒドの化合物や一酸化炭素のほかアンチノック剤としてガソリンに加えられる四エチル鉛があり、ジゼル・エンジンの排気ガスから検出される三・四—ベンツピレンなどは肺ガン発生に関係があるといわれている。せめて神戸の空だけは清浄で、明澄であってほしいと、改めて願わずにはいられない。

(神戸新聞学芸部長)

うまいものコーナー

神戸の天ぶら

百萬両

三宮センター街下の露路にあるお店です。だいたいフグ料理が専門のようです。

私が好んで食べるのはエビです。このお店ではお座敷天ぶらのように料理したてを食べられること、いかにも軽くてうまいんです。定食として食べたことはないので値段は知りません。

(会社役員・仲郷三郎)

藤はら

元町三丁目にある神戸では有名なお店です。お味は淡泊で、油のせいか色がうすくて大へんおいしいです。お店が清潔で感じよいのも気に入ります。よくいただきますのはエビと野菜です。

一人前千二、三百円程度です。

(兵庫トヨタ自動車KK社長夫人

滝川 治子)

天よし

いろいろとお店があるでしょうが、私が比較よく行くのは三宮やなぎ筋の「天よし」です。

あっさりとした軽い味で、よい油を使っているでしょう。胸にもたれることがありません。

店のふん囲気は小じんまりして落ち着いた感じ。名人気質の主人と育ちの良さをしるおかみの応待も大へん気がよろしい。

外人の客などにも喜ばれているよ

うです。もつばらエビ、イカ、ビーマン党。たしか定食の値段は三百五十円だと思います。

(神戸市役所秘書課近藤俊雄)

いた幸

市電の柳原電停山側にある小じんまりした、しかも清潔な店。

ご夫婦が、ていねいにあげてくれるあげたての天ぶらを食べるのはオツなものです。季節のヤサいの豊富なのが気に入っています。作家の若杉慧氏も神戸を訪れるたびに立ちよられるとかきいてます。たしかおかみか、先生の教えいごとか。値段も格安、定食は二百八十円、天どん百五十円。(清和香料神戸営業所長・馬野満夫)

二見寮

てんぶらと懐石の店として知られています。場所は国鉄、阪急と交通に便利な生田区三宮本通二丁目にあつて、遠来のお客さまをご案内するにも都合がよい。

味も十分おすすめてきます。季節のヤサイもエビ、魚などネタも新鮮なので気持がよい。定食(?)は一人前千円と千二百円の二種類だと思えます。ただし酒代は別。つくりや吸い物は付いてます。品数によつて値段がちがうわけ。

(デザイナー・たちばな)

お可川

ます天ぶらといえば、神戸周辺の海の幸の新鮮さ、もつとも神戸らしい味をたのしませてくれるのが栄町二丁目にあるお可川でしょう。たしか戦後にできたお座敷てんぶらの店ですが、ゆっくりと家庭的なふん囲気が好きです。お値段の方も比較的安く定食は四百円です。

(神戸灘区・主婦嘉納良子)

◆読者サロン◆

「神戸っ子」十一月号うれしく拝見。郷土を愛する人々の雑誌ということでは説明がついていると思います。

司馬さんの「ここに神戸がある」須磨は、神戸で生まれ、神戸で育った私にはうれしい内容。須磨寺を大切にすることは仏教民主主義を表面に出せば面白い行き方が出来るのでは—と思います。

神戸二中同窓生の交歓—今の高校生の悩み、幼、小、中の教育は思考力を育てないし、大学入試や入社試験のために板ばさみになっている現在の高校生にもつとゆとりのある高校生活の出来るような具体案まで論及して欲しかったと感じました。(ごもっともですが何分にも十分間というあわただしいインタビューでしたので：)

「神戸だからえがく夢」—六甲山系の背後地域を理想的な文教地区とすることができると。三木、三田、小野各市と手をつなげば美に大きくいえば播州平野をとにも開拓する夢を描きませんか。

レリーフは、無名の人といえはその道の人に叱られるかも知れないが、いわゆる知名士でない人にスポットを当てられた点で満点。

「近づいたクリスマス」『世界のレジャータイム』ごもっとも。

編集後記にある村上華岳画伯のこと、仏教に心酔されたいつつかの機会におねがいます。

神戸っ子パンザイ。ご発展を祈る。11月26日午後、職員室にて

(神戸市立鷹取中学・若松二郎)

家中みんなで迎えるたのしいXマスのために…

オモチヤのキヨシマ屋ではお子様の
楽しい夢をはぐくむセンスとア
イデアに彩られたオモチヤを豊富
にととのえました

お子様のXマスの贈ものにどうぞ
(子供部屋にミゼットハウス)

お菓子のコトブキではご家庭の団
らんにお客さまのおもてなしに喜
ばれるお菓子のかずかずを心をこ
めて作っております

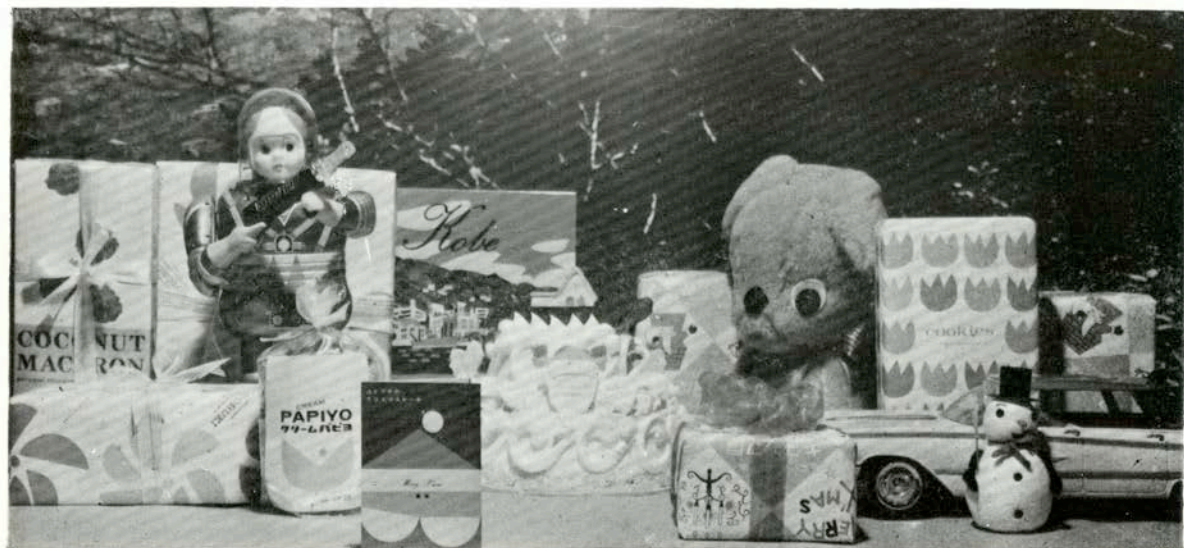
しあわせな聖夜をコトブキのお菓
子を囲んでお過ごしください

キヨシマ屋

元町2丁目 ③3249

壽本舗

三宮店 阪急神戸西口TEL(3)0381





Xマスと新しい年の
楽しきつどいに
夜の魅惑をダイナミックに
もりあげるもの
それは
ナショナル・ステレオ
素晴らしい音の響きを
そのまゝよみがえらせる
リバーブサウンド・システム(残響装置)
のステレオ・ミュージックは
最高の音の表現です

スーパーフォニック ステレオ

(2点ひとそろい)

H E-4 9

正 価 55,800円



松下電器

※ご試聴ご希望の方は電化センター(生田区
京町筋ナショナルホール)にお立寄り下さい。

